

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	12 千葉県
市区町村名	12228四街道市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	本年度の目標値	実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
12228四街道市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	ボランティアの人材不足や高齢化によるボランティア活動の継続が課題となっている。	・学校担当者と地域コーディネーターに、学校支援推進会議の意義や内容、開催方法等について理解を求める。 ・地域コーディネーターやボランティアの活動を学校HPや学校だより等で周知する。 ・県主催の研修等の周知。 ・地域コーディネーターが出席する学校支援推進会議を各学校ごとに開催し、学習計画や地域コーディネーターや地域ボランティアの役割を明確にする。	・年2回の地域コーディネーター会議での各校での取り組みや成果、人材の共有を行う ・地区社協等で、地域コーディネーターやボランティアの役割等について周知する	ボランティアによる充実した活動が行われたと感じる割合	ボランティアによる充実した活動が行われたと感じる割合	88	%	90	90	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 ○各校で実施している推進会議やボランティア活動へ視察に行き、直接ボランティアの方たちと話しをする機会を設けた。 ○ホームページに本事業の掲載内容を一新し、各校でのボランティア活動や推進会議の様子等を掲載し、周知を図った。 ▲人材不足は完全に解消されておらず、再開できていないボランティア活動もある。機会を見つけ地域への周知を今後とも図っていく。	https://www.city.votsukaido.chiba.jp/smph/b.education/elementary-middle/school/vshido201702210003.html	
12228四街道市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	地域コーディネーターと学校の連携が課題となっている。	・学校担当者と地域コーディネーターに、学校支援推進会議の意義や内容、開催方法等について理解を求める。 ・地域コーディネーターやボランティアの活動を学校HPや学校だより等で周知する。 ・県主催の研修等の周知。 ・地域コーディネーターが出席する学校支援推進会議を各学校ごとに開催し、学習計画や地域コーディネーターや地域ボランティアの役割を明確にする。	・年2回の地域コーディネーター会議での各校の連携の回り方や成果について共有を図る。 ・地域コーディネーター連絡会を開き、地域コーディネーター同士で学校との連携の仕方について共有する	地域コーディネーターの役割を理解し、学校の教育活動に参画できたと回答した割合	地域コーディネーターの役割を理解し、学校の教育活動に参画できたと回答した割合	82	%	85	84	02 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 ○多くの学校で学校支援推進会議が開催され、地域コーディネーターと学校で、必要なボランティアや困っていること等の情報交換ができた。 ○読み聞かせ活動など、停滞していた活動について、地域コーディネーターが人材を発掘し、活動を再開することができた。 ○中学校が小学校の地域コーディネーターにお願いし、ボランティアを募るなど、学校の垣根を超えた活動も見られた。 ▲新しく地域コーディネーターになられた方への引継ぎ等を確実に進めるよう、事務局もサポートしスムーズに活動再開できるようにする必要がある。	https://www.city.votsukaido.chiba.jp/smph/b.education/elementary-middle/school/vshido201702210003.html	

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。